

紀の川の整備進捗についてご意見いただきました

～『平成30年度 紀の川流域懇談会』を開催～

和歌山河川国道事務所

紀の川水系河川整備計画(H24.12策定)に基づく整備の進捗状況を、毎年有識者の方に確認いただいております。今回は、平成29年度の整備進捗について貴重なご意見をいただきました。今後も早期の整備完成に向けて尽力するよう努めていきます。

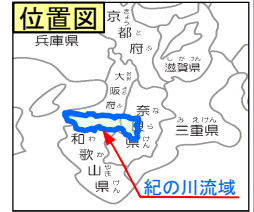
概要 対象河川:紀の川水系紀の川(国管理区間)

○日 時:平成30年9月13日(木) 15:00～17:00

○会 場:ホテルアバローム紀の国 2階 鳳凰の間

○主 催:和歌山河川国道事務所 (紀の川流域懇談会事務局)

○出席者:紀の川流域懇談会委員、和歌山河川国道事務所、紀の川ダム統管理事務所



懇談会の内容

平成29年度の主な進捗状況は、大きく3点あります。

●河川改修

岩出狭窄部では、拡幅水路部の取水堰等の設置・河床掘削を実施、無堤部の築堤を延伸。

●危機管理対策

ホームページで、ライブカメラ映像の提供を開始。

●河川環境

河川水辺の国勢調査にて植物調査を実施。外来種駆除を実施。

＜ライブカメラ公開地点＞



ライブカメラ映像の提供(危機管理対策)



外来種(特定外来生物)のナルトサワギクの駆除の状況(河川環境)



座長
中川京都大学名誉教授



懇談会の開催状況

(河川改修)



【主な質疑応答】

委員からは、治水対策の進め方や事業効果の把握に関するご発言、その他にも河川環境や危機管理対策に関するご発言もありました。

●紀の川水系での豪雨に備えて堤防整備を早めることはできないか。

→着手可能な箇所から進めている旨を説明。

●河川改修実施の効果をアピールできないか。

→大きな事業の節目で実施していくことを説明。

●河川環境の調査結果について経年変化が分かるようなまとめが必要ではないか。

→内部で検討したい旨を説明。

●出水時の避難勧告の出し方等について、減災対策協議会で十分議論してほしい。

→実施する方向で検討したい旨を説明。

●紀の川大堰におけるH29年のアユの遡上数が多かった理由は。

→出水の影響が大きいと考えているが、その他の要因も見据え、継続して分析する旨を説明

まとめ

各委員からの意見を踏まえ、今後も河川改修事業の円滑な進捗に努めるほか、良好な河川環境の保全、安全・安心な河川を維持するための河川管理を継続していきます。

【お問い合わせ先】

近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 河川管理課
〒640-8227 和歌山市西丁丁16番
TEL:073-424-2471(代表)

